



みなさんのパワーを結集して

まちづくり
協議会

機殿まちづくり協議会：会長 澤村 茂

日頃より、当協議会にご理解ご協力を
いただいておりますこと、誠にありがた
く厚く御礼申し上げます。

機殿地区が住みやすい町であるには、ど
のようにあるべきなのか。これは、当会
の発足当初からの課題です。そのために、
地域の状況や大切にしたいものを洗い出
し、4つの部会を立ち上げ取り組んでき
ました。今まであった行事をも大切にし
ながら、いかに融合させるかを考えてき
ました。ほぼ満足していただける取り組
みができるようになってきたのではないか
なと思っています。取り組みがボランテ
ィアに頼らざるを得ない中では、自治会
長さん等に負担が掛かっているのも事実
です。また、若い人たちに参加してもら
いにくい現状も克服できていません。

まちづくりは、10年たったとは言え自
治会活動から見ればまだまだ赤ん坊みた
いなものです。PTAや消防団など若い人



たちとの繋がりをどのように作っていく
のか。また、どこでも生活に追われて、ま
ちづくりに目を向ける暇がないことを考
えられるようにしたいものです。

お金はありません。暇もありません。
でも、みなさんのお力で少しずつですが
前進しています。少しお知恵を下さい。
お力をお貸し下さい。みなさんのエネル
ギーが役員を元気にします。課題も多い
し、なかなか楽しむところまで行きませ
んが、これからもよろしくご協力をお願
いします。

地域外へのPR効果も! はたどの祭り盛況



「安心して暮らせる町」、「活かに溢れた町」そんな理想に近づくにはどうすれば良いのでしょうか? きっと、どこの地域も似たような問題を抱えているように思います。例えば、小学校が存続し続けるよう、この地域の人口が増えることを願ってやみません。

そんな想いを込めて企画し、昨年12月に開催した「はたどの祭り」も今年度で2回目です。この祭りは、機殿地区の“農”と“歴史”を対外的にPRすることで地域の活性化につなげ、更に、参加者同士のコミュニケーションの場として定着することで、様々な方面への起爆剤になると信じています。

今回もJAさん、松阪興産さんにご協力いただいたことで、地域外からの来場者も多く、準備した農産物などは早々に売

農業
振興部会

特産のイチゴをふんだんに
使ったイチゴミルク



今年も大人気の餅まき



り切れるほどの人気でした。昨年度の反省を踏まえ、微かながら、しかし、確実に機殿の魅力をPRできたと手応えを感じました。そこで今年度も松阪市の元気応援事業に申請し、第三銀行さんのスポンサー賞を含めて40万円の助成を受けることができました。この助成金を活用し、来年度のはたどの祭りは12月23日に開催する予定です。祭り当日はもちろん、準備の段階からぜひ皆様のお力をお貸しください。地域一丸となって“楽しみながら”素晴らしいお祭りに育て上げましょう!

有機米作り通じ 環境について学ぶ

平成29年度の環境・エコ推進部会の事業も計画通りほぼ終了しました。

中でも、約1年をかけて実施した「小学校有機米作り体験学習事業」では、機殿小学校の5年生、5名がとても頑張ってくれました。4月に実施した種まきに始まり、田植え、稲刈り、脱穀、米つき、お米学習と、有機米作りの流れを学ぶと同時に、身近な環境についても学んでもらいました。

初めは恐々だった田植え等も、しばらくすると目を輝かせ、大きな声を出して泥んこになりながらも頑張ってくれました。最後には「もっとしたい」と言う子もあり、



楽しく学んでもらえたようです。収穫したお米は、先生も含めて給食として実際に食べてもらいました。

11月30日には学習事業終了証とDVDを生徒全員に授与しました。学習体験した生徒からは素晴らしい感想文集もいただきました。この事業でお世話になった皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

大盛況 健康づくり ウォーキング大会

健康福祉部会では、昨年12月23日に実施した「はたどの祭り」で「健康づくりウォーキング大会」を同時開催しました。

当日は、近年、幅広い年齢層に人気の「ノルディックウォーキング」の団体を招いて、ポールを貸し出しもらい、参加者に体験してもらいました。ノルディックウォーキングは、専用ポール2本を使うことで足腰への負担を軽減し、誰もが手軽に行えるため健康を意識する人の注目が高まっています。



また、昨年度、当部会が作成したウォーキングマップを活用し、この地域の偉人「籾八翁」の碑や「上機殿（神麻績機殿神社）」の現地で、地元有識者がその歴史や背景を解説。歴史好きにも好評でした。

祭りの効果で地元以外の人出も多く、ウォーキングは50名を超える参加者で賑わいました。

豪雨災害避難訓練と 風水害テーマの講演実施

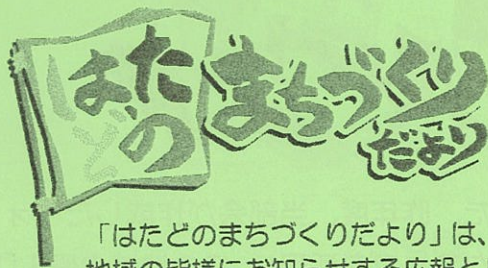
安全部会の事業も、東部管内防災ネットワーク事業、防犯灯設置助成事業、講演事業並びに防災訓練事業とほぼ予定通り終了しました。

11月5日に実施した「豪雨災害避難訓練」は、この地区全戸を対象として実施。一次避難には450名が参加しました。その後、二次避難を各地域の代表者を対象にして実施。市民センターまで避難しました。



また、この日は「櫛田川流域の風水害」をテーマに講演を開催。その後、実際の危険箇所の確認を行うワークショップも行いました。他にも、避難食の炊き出し訓練も行いました。

昨年は大きな台風が直撃したこともあり、地震や津波以外の災害にも改めて意識が高まったと感じます。その規模にもよりますが、災害を未然に防ぐには限界があります。災害時の被害を少しでも軽減するため、一人ひとりができる減災を日頃から意識し、準備しておくことが大切です。



に情報をお寄せください

「はたどのまちづくりだより」は、機殿まちづくり協議会の活動を地域の皆様にお知らせする広報として、年3回程度発行していく予定です。（都合により変更する場合があります）

まちづくり協議会の事業、各部会の事業のお知らせ、活動報告など、情報提供には参考資料としてチラシや要項、活動内容がわかる写真データなども添えてご提出いただくと助かります。

情報提供は
コチラまで

各部会の「広報編集委員」もしくは機殿地区市民センター内「広報編集委員会」まで。



TEL : 0598-59-0351